

# どのくらい知ってる？ 町の文化財



只見町の文化財などを見学しながらクイズで内容を知ろうという催しが、町教育委員会主催で8月11日に行われました。

参加者は町内小学生と保護者や一般町民で合わせて24名、講師に「只見の自然」に学ぶ会・新国勇さん（只見）を迎え、成法寺観音堂や会津只見の生産用具と仕事着コレクション、石伏旧若宮八幡神社の大クリ、河井継之助記念館などを見学しながら、現地では各文化財にちなんだクイズが出題され、参加者は新国勇さんの説明を聞き真剣に答えを選んでいました。

全問正解者にはプレゼントがあるということで小学生からは多くの質問があり、積極的に文化財の詳細を学んでいました。

参加者からは、町の歴史や文化に楽しく触れることができ、また町には数多くの貴重な財産が存在することを改めて認識できました。との感想も聞かれました。

今回のツアーで出題されたクイズを紹介します。さあ、皆さんは全問正解できますか？チャレンジしてみてください。

（正解は18ページ左下に記載してあります）



▲よ〜く考えて……



▲大クリをバックに



▲ゴールは、河井記念館

## 只見町文化財めぐりクイズ

成法寺観音堂	○只見町には、国の宝（重要文化財）はいくつあるでしょう？ ア. 1つ    イ. 3つ    ウ. 5つ	<input type="text"/>
	○只見町には、県の宝（重要文化財）はいくつあるでしょう？ ア. 3つ    イ. 5つ    ウ. 7つ	<input type="text"/>
	○「成法寺観音堂」は、いまから何年前に建てられたでしょう？ ア. 700年前（鎌倉時代）    イ. 400年前（室町時代） ウ. 250年前（江戸時代）	<input type="text"/>
窪田遺跡	○「聖観音菩薩坐像」は、いまから何年前につくられたでしょう？ ア. 700年前（鎌倉時代）    イ. 400年前（室町時代） ウ. 250年前（江戸時代）	<input type="text"/>
	○窪田遺跡から動物の骨が出ています。それは次のうちどれでしょう？ ア. ニホンジカ    イ. ツキノフグマ    ウ. イノシシ	<input type="text"/>
民具	○窪田遺跡は、なにが重要なのでしょうか？ ア. 家のあとがいっぱいある    イ. お墓がある ウ. <びわ・耳かざりがいっぱい	<input type="text"/>
	○町が集めた民具は、ぜんぶでいくつあるでしょう？ ア. 約5,000点    イ. 約8,000点    ウ. 約12,000点	<input type="text"/>
大クリ	○国の宝（重要文化財）になった民具は、いくつでしょう？ ア. 2, 333点    イ. 4, 532点    ウ. 6, 112点	<input type="text"/>
	○このクリの幹回りは、何メートルあるでしょう？ ア. 4.80メートル    イ. 5.20メートル    ウ. 7.50メートル	<input type="text"/>
	○只見の山は、なぜ急なのでしょうか？ ア. 岩石が風化しやすいから    イ. なだれでけずられるから ウ. 火山活動がはげしかったから	<input type="text"/>
五ヶ峯	○雪食地形は、つぎのうちどこが有名でしょう？ ア. カナダ    イ. フィンランド    ウ. 日本	<input type="text"/>
	○長谷部家住宅と五十嵐家住宅では、どっちが古い？ ア. 長谷部家住宅    イ. 五十嵐家住宅    ウ. どちらも同じ時期	<input type="text"/>
河井記念館	○河井継之助はどこの藩の人でしょう？ ア. 会津藩    イ. 長岡藩    ウ. 薩摩藩	<input type="text"/>
	○戊辰戦争のとき只見に攻めてきたのは次のうちどれでしょう？ ア. 東軍（旧幕府軍）    イ. 西軍（新政府軍）    ウ. 会津軍	<input type="text"/>

# 只見町文化財めぐり クイズツアー

「只見は宝の町!？」



～講師～  
新国 勇さん  
(只見)



▲たのしく学ぶ参加者

只見町には、全国に誇れる宝物がいっぱいあります。文化財では、国指定が3件、県指定が7件もあつて、周辺の町村と比べて群をぬいています。日本一には、ブナ天然林、ユビソヤナギ、クロホオヒゲコウモリ、雪食地形、巻物、山の数などがあつて多種多彩。わたしたちがそれに気づいて感動するだけで、町は活気づきます。子どもからお年寄りまで、「おらの町が日本一」と自慢できるようになれば、世界じゅうから人が集つてくると思っています。



会津只見考古館

県指定史跡の窪田遺跡から発掘された土器や石器をはじめ、土偶や首飾りなどを中心に只見町の考古資料を展示。全国的にも珍しい、住居近くに位置する「再葬墓」の復元模型や竪穴式住居も復元されています。



会津只見の生産用具と  
仕事着コレクション

稲作や畑作、狩猟などのために使っていた民具7500点以上が、「只見方式」と呼ばれる町民主体の民具整理によって保存されています。このうち2333点は、国重要有形民俗文化財に指定されています。



石伏旧若宮  
八幡神社の大クリ

根回り8.5m、幹周り7.5m、直径2.7m、樹高18mもあるクリの巨樹。重厚な幹が立ちあがり、地上5m付近で大きく3本に分かれています。屋久杉のように神秘的で威厳があります。



成法寺観音堂

和様と唐様をとりまぜた端正な建造物。1512年の巡礼札から室町時代後期の建築と考えられます。寺の創立は仏像の銘から鎌倉時代末期と考えられます。仏像は県指定の文化財となっています。



河井継之助記念館

只見町で最後を遂げた長岡藩家老河井継之助に関する資料や、ゆかりの品物、終えんの間を保存展示しています。記念館の隣には 継之助の墓(医王寺)や、製塩を行っていた当時の資料を 展示した山塩資料館もあります。



旧五十嵐家住宅・  
旧長谷部家住宅

旧五十嵐家住宅  
約300年前築のこの地方の本百姓の家屋で、国の重要文化財指定。  
旧長谷部家住宅  
江戸時代の八十里越関所。奥会津地方最大規模の厩中門造りで、福島県の重要文化財。

## 只見町の 歴史探訪

今回のツアーで見学された文化財です。ご存知ですか？  
只見町には、左に載せたものの他にもたくさん文化財があります。  
皆さんで、守り伝えていきましょう！